

## 第4編 実施計画の進め方

### 第1章 進行管理について

実施計画の推進に当たっては、毎年度、その進捗状況を的確に把握して、進行管理に努めます。進行管理は「実施計画事業」を対象として行うものとし、PDCAサイクルの視点を重視して、事業費ベースでの進捗状況に加えて、数値目標の活用を図るものとし、さらに、この進行管理のプロセスを通じてPDCAサイクルの確立を図ります。

### 第2章 事業の進め方について

実施計画に位置づけられた事業の執行に当たっては、次の観点を重視して取り組んでいくものとします。

#### 市民参加と市民意向の反映

市民ニーズに応えられる事業とするために、適宜市民意向の把握に努め、その意向を反映した事業の推進を図ります。

本市のまちづくりの基本理念である「協働による創造」の具体化に向けて、事業実施段階における市民参加の可能性について検討し、市民の参加を得ながら事業を推進するため、事業の特性に応じて、どの段階で、どのような手法により、どのような市民を対象とし、どのような成果を期待して市民参加を行うのかを検討します。

#### 事業効果の拡大・事業費の削減

事業効果の拡大・事業費の削減に向けて、常に、最適な事業実施方法を検討して、事業を進めます。

このため、事業の実施にあたっては、その種類・内容、対象区域、対象者（受益者）、実施時期、事業手法などの観点から類似する事業を検証し、連携の可能性と効果について検討します。

#### 課題に応じた柔軟な組織運営と権限委譲

行政組織内における連携により、人材や資金などの限られた行政資源を有効に活用し、事業効果の拡大及び事業の効率化を図ります。このため、課題に応じた適切な組織配置に努めるとともに、プロジェクトチームなどによる柔軟な対応を図ります。

また、市民のニーズを直接把握しやすい各部に予算の編成や執行に関する権限の委譲を推進することで、迅速で適切な事業の推進を図ります。

### ITの積極的な活用

本市では、これまでもITの活用については積極的に取り組んできました。今後も、それぞれの事業の特性を踏まえ、市民サービスの向上をはじめとして、積極的な情報発信による市民との情報共有、事務事業の効率化など、各事業の執行段階においてもIT活用の拡充を図るものとしします。

なお、これに並行して、自治会におけるホームページ開設の支援や市民サポーター養成講座の新設など、地域におけるIT活用の環境整備と人材育成を進めます。

### 関係機関との連携

総合計画には、国、県などの機関と密接な関係を保ちながら実施すべき施策・事業が数多くあります。

本計画を円滑に推進していくため、関係機関との連携体制の確立に努めるとともに、関係機関による施策・事業やその計画との整合性に留意しながら、総合的・体系的な施策・事業の推進を図ります。